

熊本県宇土郡不知火町松合方言の副助詞

一 森 綾 子

I. はじめに

1. 調査対象地： 不知火町松合は、熊本市から南西へ25 km程の宇土半島南岸の地域で国道266号線が通っている。江戸時代後期より明治時代までは漁港として、また酒・醤油などの醸造で栄えた町であるが、明治中期より三角港開港、明治32年国鉄三角線の開通を機に過疎化の一途をたどった町である。昨年は台風18号による高潮災害を受け、町名を全国に知られるところとなった。不知火町には不知火小学校と松合小学校と2校区あるが、平均年齢が高い松合校区の方は生徒数の減少で不知火小学校との統合が考えられているほどである。2000年3月31日現在の不知火町の人口は10,173人、世帯数は3,248戸である。
2. 調査年月日：2000年4月5日午後6時～10時10分、
2000年5月3日9時～12時
3. 教示者：松浦八郎氏 大正4年7月16日生まれ(85歳)
4. 調査者・調査場所：一森綾子、教示者(松浦八郎氏)宅の居間
5. 調査方法：統一調査票による質問調査
事前に調査用紙を渡しておき、あらかじめ回答を記入してもらっていた箇所もある。
6. その他：① 複数回答の箇所は()で、曖昧だったものには最後に(?)の印をつけた。
② アクセントは、分かる範囲内で上部に棒引きで記す。

II. 調査結果

(1) 添加・例示・提題などをあらわすもの

A. 添加 <さえ・も>

1. 雨だけでなく風さえ吹いてきた。 ○アメダケジャ ノーシテ(ナシー)
カモマデフィテ(カモマジデチ) キタ
2. 今年は豊作で、米ばかりか麦もよくとれた。 ○コトシャ ホウサクデ コ
メバカリカムギマジ ヨーデケタ

B. 予想外の事実 <さえ・だけ>

3. 小学生でさえ簡単にワープロを使っている。 ○ショウガクセイデシャガ
カーンタンニワープロバ ツワイヨル
4. (宝くじが)当たると思っていなかっただけに嬉しい。 ○タカラクジノ
アタルナンノテ オモートランダッタケン(オモートランダッタケノ)(?)
ウレシカー

C. 条件 <さえ>

5. 暇さえあれば釣りに行っている。 ○ヒマシャガ アレバ ツリーイットル
(ツリーイタトル)

D. 例示 <でも・ほど・まで・など・やら・なり・なんて>

6. まあお茶でも飲んでください。 ○マー オチャナット ノンデハイヨ (ノ
ンデクダ ハッ・ノミナッセ)

7. みやげにこのまんじゅうなどどうかな。 ○ミヤゲニヤ ゴン マンジュウ
ナンカワドギヤンカイ (ドギヤンカイ)

8. 思わず跳び上がるほど嬉しかった。 ○ナンサマ トビアガルゴテ ウレシ
カッタ

9. まさかあなたにまで話が行くとは思わなかった。 ○マサカ アタニマデ
(アタニマジ) ハナシノイクチュワ (ハナシノイクナンノテ) オモワンダ
ッタ

10. ながるやら蹴るやらの乱暴をはたらいだ。 ○ウツタリ ケツタリノ ラン
ボウバハタライタ

11. 私になり相談してくれば良かったのに。 ○ワタシナリ ソウダンシテ
クルレバ ヨカッタツニ

12. 野菜なんていくらでもできる。 ○ヤサイノナンノテ (ヤサイグリヤ) ド
シコデン (ドガショデン) デクル

一对の語の例示 <だって>

13. しょうゆだってみそだって作っていたんだ。 ○ショウユデン ミソデン
ツクリヨッタツバイ

択一 <なり>

14. 私なり弟なりがお手伝いに行きます。 ○ワタシヤラ オトートヤラガ テ
ツダイニイクバイタ (テツダイイクケン)

例外でない <とて>

15. 村長とてそうするより仕方なかったんだらう。 ○ソンチョウテチャ ソガ
ンスルヨリ シカタナカッタツダロ (シミチノナカッタツダロ・シオンナカッ
タツダロ)

列举 <も>

16. 春らしくなって、梅も桜も一度に咲いた。 ○ハルラシューナツテ ウメモ
サクラモ (ウメデンサクラデン) イッドキーシャータ

同類の暗示 <も>

17. テレビもそろそろ買い替えよう。 ○テレビモ ソロソロ カイカユカイ
(テレビテツチャ ソロソロ カイカエンバ)

やわらげ <でも>

18. まあお茶でも飲んでください。 ○マア オチャナツト (オチャデン) ノ
ンデクダハッ (ノミナッセ)

E. 包括 <など>

19. 盆には子やら孫などが帰ってくる。 ○ボンニヤ コーヤラ マゴヤラ モ
ドツテクル

F. 提題 <だって>

20. ゲートボールだってできるよ。 ○ゲートボールデン デクッ (シキッ)
話題にあげる <って>

21. 何だい、いいことって。 ○チンカイ ヨカコツテニヤ
極端なものの提示 <でも・くらい・すら・も>

22. そんなこと子供にでもできるよ。 ○ソギヤンコツナラ コドンテツチャ
デクル (シキル)

23. 食べることくらいは何とかしたい。 ○クウコツ グライ ドギャンカ セ
ンバ

24. 名前すらろくに覚えていない。 ○ナマエテチャ ロクニ オボエトラン

25. 弁当代に千円もかかった。 ○ベントウダイニ センエンチコツ カカッタ
軽いものをあげる <さえ>

26. これさえあればもう大丈夫だ。 ○コレシャガアレバ モーダイジョウブ
バイ

(2) 分量・程度・基準などをあらわすもの

G. 分量・程度 <ほど・くらい・ばかり>

27. 旅行で3日ほど家をあけた。 ○リョコウデ ミッカバツカル イエバ ア
ケタ

28. 茶碗に半分くらいください。 ○チャワンニ ハンブン バツカリ (グライ)
クダハッ (ハイヨ、クレンナ)

29. 子供にでもわかるくらいのやさしい本だ。 ○コドンテツチャ ワカルゴ
タル ヤースカホンバイ (ヤスカホンダン)

30. 一週間ばかり留守にするので頼むよ。 ○イッシュウカンバツカリ ルスス
ルケン タノムバイ

H. 基準 <ほど>

31. 今年の寒さは去年ほどではない。 ○コ下シノ サムサワ (カンナ) キョ
ネンノゴチャナカ

I. 理由 <ばかり>

32. ちょっと油断したばかりにとんでもないことになった。 ○チョコツト ユ
ダンシタバツカリニ (ユダンシタバツカリ) トツケムニャーコチ ナッタ

J. 「それにふさわしく」 <だけ>

33. 苦勞しただけあって人間ができています。 ○クロウシタガツアッテ ニンゲン
ノデケトル

形式名詞的用法 <なんか>

34. 毎日孫の守りやなんかで忙しい。 ○ミャーニチ マゴノ モリヤラデ イ
ソガシカ

「それこそ」 <こそ>

35. それこそバケツをひっくりかえしたような大雨だ。 ○ソルコソ バケツバ
ヒックリカエシタ ゴタル オオアメタイ (ドシャブツタイ)

「～ばかりか」 <ばかり>

36. 父ばかりか母もスポーツ好きだ。 ○オトツツアン バツカリ (ダケ) ジャ
ノーシテ オッカサンモ スポーツズキダモン

K. 今にも行われる <ばかり>

37. もう食べるばかりにしてある。 ○モー クウバツカリ シテアル

動作の完了直後 <ばかり>

38. 今、仕事から帰ったばかりだ。 ○イマ シゴツカル モドツタバツカッタ
ン

基準 <まで>

39. 駅までもうちょっとだ。 ○エキマデ (エキマジ) モーチョコツタイ (マ
ーチツタン)

L. 等量の反復<ずつ>

40. 一人ずつ呼んで話をした。 ○ヒトツズツ ヨンデ ハナシバシタ

M. 等量の配分 <ずつ>

41. 一人に二個ずつみかんをやる。 ○ヒトリニ フタツズツ (ニコアテ) ミ
カンバヤル

(3) 限定・限界などをあらわすもの

N. 限定 <しか・だけ・ばかり・きり>

42. 酒はたまにしか飲まない。 ○サケワ タマニシカ ノマン

43. 今朝は寝坊をしてパンだけ食べて来た。 ○ケサワ ネポーシテ (ネワスレ
テ) パンバツカリクテキタ (パンシカ クトラン)

44. そんなに勉強ばかりしていると体に毒だよ。 ○ソギヤン ベンキョウバツ
カリシヨット カラダニ ドクバイ (ドクゾ)

45. うちの田が残っているきりで、よそは全部終わった。 <田植えのこと>

○ウチンタガ ノコツトル バツカリデ ヨソワ センプ (ソーヨ) シマ
エトル

O. 強調 <しか・こそ>

46. もうこれだけしかないよ。 ○モウ コレシコシカ ナカ
47. 今年こそいい年にしたい。 ○コトシナット (コトシドマ) ヨカトシ センバ

P. 限界 <だけ・まで>

48. これだけ言っても分からないのか! ○コガシユ (コレシユ) ユウタッチャワカラントカ
49. 2千円くらいまでなら何とかなる。 ○ニセンエングライマデナラ (ニセンエングリャーマジナラ ドギャンカナル)

(4) 陳述的なもの

Q. 「～ば～だけ」 <だけ>

50. 肥料をやればやるだけよく育つ。 ○ヒリョウバ ヤレバ ヤルシユ ヨウソダツ

「仮定形・ば・こそ」 <こそ>

51. 心配すればこそ言うんだ。 ○シンバイダケンコソ (シンバイダケン) ユートバイ

「こそ・仮定形」 <こそ>

52. 彼は文句こそ言え、人の言うことなど聞かない。 ○アラ モンクワユウタッチャ ヒトンユウコチャ キカン

53. 「～でこそあれ<コサレなども>」という言い方はありますか。(?) 無回答

「未然形・ば・こそ」 <こそ>

54. 押しても引いても動かばこそ。 ○オシテン ヒイテン ウゴカン (?)
55. 失礼なことを言わないでこそ。 ○シツレイカコツバ イワンデコソ (?)

「～こそ～が」 <こそ>

56. 今でこそ家から出ないが、昔はよく出歩いていた。 ○イマデコソ イエカラデランバツテ ムカシャ ヨーデテ サラキヨツタ

「～ば～ほど」 <ほど>

57. 働けば働くほどもうかる。 ○ガマダセバ ガマダスシユ モウカル

R. 打ち消しとの呼応 <まで>

58. 村長に聞くまでもないことだ。 ○ソンチョウニ キクマデモ ナカコツタイ (?) (ソンチョウニ キカンチャ ワカリキツタコツタイ)

否定との呼応 (それさえもない) <も>

59. 朝から忙しくて昼飯も食えない。 ○アサカライソガシューシテ ヒルメシモクイダサン (ヒルメシシャガクイダサン)

否定的取り上げ <など>

60. こんなものなどいくらでもあるよ。 ○コガ^ラント ナ^ノテ ドガシコデン
アル (コンクライノモンナ^ラ ドガシコデンアルモネ)

全面否定 <だって>

61. 誰だってそんなことを言われたら怒るよ。 ○ダッダ^ッチャ ソギ^ンコツ
バイワ^レチミロ ハルカクバイ

S. 次の動作が不可能 <きり>

62. 10年前に故郷を離れたきり、一度も帰っていない。 ○ジュウネンマエニ
コキョウバ ハナレタ^ママ (デタ^ママ) イッカイモ モドツチャオラン

(5) モダリティー的なもの

T. 不確かな気持 <やら・か>

63. いつのまにやら眠ってしまった。 ○イツノマニ^カ (シ^ランマニ) ネムッ
テシモタ (ネ^ッツテシモタ・ネテシ^モトツタ)

64. 何のことか分からない。 ○ナンノコツ^ヤラ (ドギ^ンコツ^カ) ワカラン
(イッチョ^ンワカラン)

推定 <か>

65. 後で遊びに行くかもしれない。 ○アトデ アソビイク^カモワカラン (アソ
ビ^ッカモシレン)

どちらか分からない <やら>

66. 来るのやら来ないのやらよく分からない。 ○クツカ コントカ ヨーワ
カラン

はっきり言わない <やら>

67. どこやらへ引っ越したそうだ。 ○ドコ^サンカ ヒッコシタゴタル

U. 非難 <たら・てば>

68. お父さんたら今日も遅いのね。 ○オトツツァン^ダロ キョウモ オスカ^ネ

69. お父さんてば、子供のようなことを言って。 ○オトツツァン^ダロ コ^ドン
ガゴタルコツバユーテ

Ⅲ. おわりに

十数年前、宇土半島を中心に言語地理学的な調査で、語彙調査を中心にフィールドワークしたことがある。900名ほどの生え抜きの方を対象にしたものであったが、松合地域は特有の伝統的な方言語彙が残存する地域であると感じていたので、副助詞についてはどうかと思い今回は松合を調査地を選んだ。しかし、筆者の時間的都合で、教示者(松浦八郎氏)一人の調査で終わったので何も比較考察することができない。副助詞に限っては語彙の地域差ほどの表現・使用法の違いは無いように思うものの熊本県全地域をフィールドワークできればおもしろい結果が出たであろうにと非常に残念に思う。

(いちもりあやこ) 熊本県立松橋高等学校